

地域ケア推進会議 報告書

【医療・介護連携に関する場合のみ】

提出日	2023年7月10日
作成 高齢者支援センター	堺第2
作成者	柳原 順子

1.開催日時	2023年6月29日	(木)	18:30	～	20:30
2.会場	小山市民センター ホール				
3.主催センター	堺2				
4.参加人数	36人				
5.参加者内訳	<input checked="" type="checkbox"/> 高齢者支援センター 6人		<input checked="" type="checkbox"/> 医療と介護の連携支援センター 2人		
	<input checked="" type="checkbox"/> 医療関係者 11人 (うち、医師 1人)		<input checked="" type="checkbox"/> 介護事業者 14人		
	<input type="checkbox"/> 民生委員 人	<input type="checkbox"/> 老人会 人	<input type="checkbox"/> 住民 人		
	<input type="checkbox"/> 町内会自治会 人	<input type="checkbox"/> 警察 人	<input type="checkbox"/> 行政 人		
	<input checked="" type="checkbox"/> その他 (まちだ福祉○ごとサポートセンター堺 3名)				
6.開催テーマ	おひとりさまでも安心して最期を迎えられる地域にするには				
7.地域課題	(1)課題設定の背景				
	2022年4月に身寄りの全くない方が救急搬送され、他市の病院でお亡くなりになる案件が発生した。未払金や家の片づけ等を巡って、サービス事業所、大家、地域住民から様々な相談が支援センターに寄せられ、身寄りがない方の死後事務が委任されていなかったことで、地域の支援者に大きな負担が強いられることがセンターにて再認識された。				
8.会議の内容	(2)検討した地域課題				
	前回までの会議にて、身寄りのない方へ早期に、今後利用を検討した方がよい制度・サービスについて考えていただくためには、地域住民が「わかりやすく手に取りやすい資料」作成と、啓発活動が必要であるとの結論に至った。 一方で、地域住民が自身の最期について向き合い・考える場を構築するには、支援者である専門職自身が「自分ごと」として捉えることが重要であるが、学ぶ機会や研修がなかった。				
9.課題に対する対応策・今後の地域での展開	前回会議までの振り返りと開催趣旨説明を行う。 医療と介護の連携支援センターからのACP説明後、グループに分かれて、もしバナゲームを用いたACP疑似体験を行った。ワーク1ではさまざまな制限がある中での選択、ワーク2は制限のない自由な選択を体験し、それぞれ感じたことをグループ全体で発表した。ワーク1を進める中で周りの発言に感化され、ワーク2では同様の意見にまとまった形での発表が続いた。その時その時で得られた情報の中で、「思い」は常に変わりうるものであることを体感し、全体の参加者で共有を行った。 今後、地域住民(主に身寄りのない方)に向けて、「わかりやすい・手に取りやすい資料(作成予定中)」にて説明をしていくにあたり、配慮すべき点についてグループワークで検討した。「自分ごととして捉えられえりようなチャート資料が用意できるといい。」「思いは変わりうるので1回書いて終わりではなく、定期的に見直し、書き換える日を作る。」等意見が出た。				
10.その他	地域住民向け「終活」講座を今年度10月に開催予定あり。				

医療と介護の連携支援センター 確認日	7月 10日
--------------------	--------